

2024 年 2 月 29 日

分野：社会科学系

キーワード：組織、信頼、イノベーション、心理学、機械学習

シンギュレイトと大阪大学大学院経済学研究科 松井博史准教授が 『イノベーティブな組織づくり』に関する共同研究を開始 —実践的かつ科学的な組織づくりモデルの開発にむけて—

❖ 概要

大阪大学大学院経済学研究科と、株式会社シンギュレイト(代表取締役社長:鹿内 学、以下 シンギュレイト)は、イノベーティブな組織づくりについての共同研究契約を 2024 年 1 月 1 日に締結しました。大阪大学大学院経済学研究科 松井博史 准教授(以下、松井研究室)とシンギュレイトが、それぞれの知見をもとに研究を行います。

本共同研究では、実践的かつ科学的な検証に裏打ちされた組織づくりのマネジメントのためのモデルの開発を行います。

松井研究室では、社会心理学をベースとして、人と組織の成長に関わる研究を行ってきました。一方、シンギュレイトは、ピープルアナリティクスの技術や科学的知見を用いて組織開発を支援するサイエンスカンパニーとして、「信頼」をキーワードに人と人との新しい関係・関係性を作り、新結合(イノベーション)を増やすことを提案する事業を展開しています。共同研究では、シンギュレイトがこれまで提供してきた信頼に基づくイノベーティブな組織づくりの実践結果や、既存のモデルとその課題、社内外のデータを提供します。そこに、松井研究室の心理学的知見、データ活用ノウハウ、業務改革経験などを掛け合わせることで、組織の状態を測り、改善するための科学的かつ実践的な方法論を構築したいと考えています。

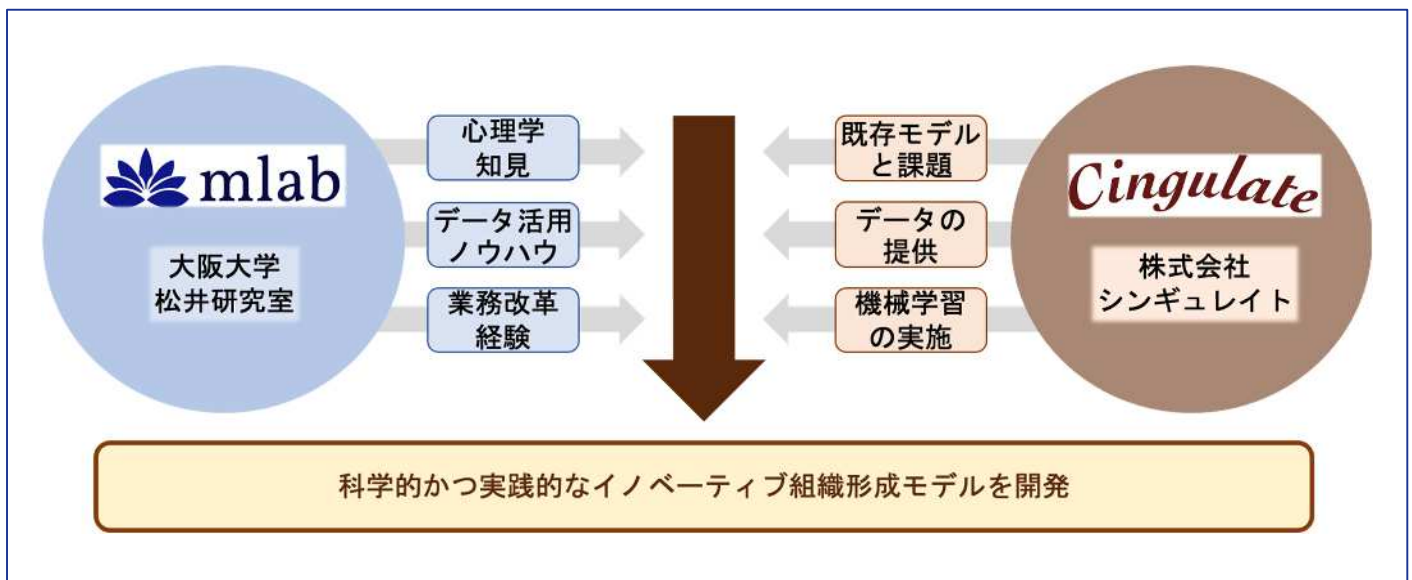
この取り組みにより、企業が組織の診断とそれに基づく介入をより科学的・効果的に実行することができるようになり、よりよい組織運営につながる事が期待されます。



Press Release

❖ 研究の進め方

1. シングュレイトの信頼をトリガーにした組織づくりモデルについて、これまでの実践結果を再検討して現状のモデルの課題を明確化する。明確化にあたってはこれまでの顧客の要望などに応えるための具体的な課題を目指すものとし、コンサルティングファームでの勤務経験がある松井研究室の知見も活用しながら進める。
2. 松井研究室が社会心理学などの知見を提供することでモデルを拡大・強化する。実施にあたってはシングュレイトの博士号取得メンバーと松井研究室が分担して諸分野の広範な知見を収集する。
3. シングュレイトの AI・機械学習技術を用いて、松井研究室のデータ活用知見をもとに社内外のデータを活用してモデルを検証する。検証にあたっては多様なデータのフュージョン・マッシュアップなどの利用を検討する。
4. 得られた知見を統合し、具体的にどのようにイノベーティブな組織づくりを行っていくかの方法論をデザインする。



❖ 今後の展開

シングュレイトと松井研究室は、イノベーティブ組織形成に向けたモデルを開発し、科学的かつ効果的な組織運営の推進に貢献します。今後の展開としては、日本で得られたデータをもとに信頼などの要因が組織づくりや組織の KPI にどのように貢献しているのか実証を進め、包括的なモデルとしてまとめていくことを想定しています。

❖ 大阪大学経済学研究科 松井博史准教授について

専門は社会心理学。独立法人放射線医学総合研究所、アビームコンサルティング株式会社などを経て現職。社会心理学・データ活用・コンサルティング経験などを生かし、人と組織の育成に関する応用研究を進めている。

❖ 株式会社シングュレイトについて

「信頼によって人と人をつなげ、多様性のある組織を増やす」のミッションのもと、「信頼」をキーワードに人と人との新しい関係・関係性を作り、新結合(イノベーション)を増やすことを提案する事業を展開。ピープルアナリティクスの技術を基に、1on1 での話し方・聴き方を可視化する 1on1 サポーター「Ando-

san」、イノベティブな組織への変革を促す組織診断「イノベーション・サーベイ」の2つのサービスを提供している。